

参議院選挙投票日
7月10日(日)
7:00~20:00
投票に行きましょう

泉北教育

NO.2231 2022.7.4
発行 泉北教職員組合
〒594-0071 和泉市府中町6-12-2
TEL0725-41-1953 Fax0725-44-6570
E-mail senboku@gf6.so-net.ne.jp

核兵器禁止条約会議でウイーン宣言を採択

ウイーンで開かれていた核兵器禁止条約の第1回締約国会議(6月21~23日)は、「核兵器のない世界への私たちの約束」と題する「ウイーン宣言」と「ウイーン行動計画」を採択し閉幕しました。唯一の戦争被爆国である日本の政府はオブザーバー参加すらしませんでした。広島・長崎両市長のスピーチには多くの賛同の声が寄せられました。(左は田上長崎市長のスピーチ)

多くの国やNGOが参加

ウクライナ侵略を続ける

ロシアが、核兵器使用の威嚇を繰り返す、他の核保有国も核戦力の維持・強化をはかる危険な情勢のもとで

全面廃絶以外にないことが次々表明されました。禁止条約は、核兵器の使用と

会議は開催されました。しかし、禁止条約の批准国は65へと増加しており、支持は着実に広がっています。会議では、NGOや市民代表も政府代表と対等の立場で議論に参加し、核抑止論がもはや成り立たず、核兵器の脅威を根絶するには、



会議での長崎市長発言



(挨拶略) 被爆者は、核兵器禁止条約こそ「核兵器のない世界」へと照らす希望の光であると称え、その誕生を大いに喜びました。私は2017年8月9日の長崎原爆死没者慰霊平和祈念式典において、平和宣言の中で、被爆者の苦しみや努力にも言及したこの条約を「ヒロシマ・ナガサキ条約」と呼びたいと申し上げました。ここで改めて、条約成立にご尽力されたすべての皆様の、世界から核兵器をなくそうとする強い意志と勇気ある行動に、敬意と感謝を表します。

条約が発効して約1年半が経過しますが、ウクライナ危機の中、「核兵器による威嚇」を経験し、「核兵器使用」の危機にさらされている今だからこそ、この条約の意義が非常に大きくなっていると感じています。なぜなら、私たちが直面している「今ここにある危機」を明確に禁止する国際条約は、核兵器禁止条約だけだからです。危機を実感している今、核兵器使用や核兵器による威嚇を防ぐことは、条約に賛成していない国も共有できる行動原則です。これを普遍化していくことで、核兵器を使わせないまま、私たちの最終目標である核兵器廃絶へと導いていくことができるのではないのでしょうか。

現在、核兵器のない世界への道は険しさを増していますが、このように混沌とし、道を見失ってしまいそうな時こそ、「今と未来に生きる人間を守りたい」と強く願い、心の奥底に閉じ込めておきたい記憶をこじ開け語り続けた、被爆者の声を思い起こし、勇気にかえてください。条約の原点である被爆者の体験を私たちが共有することはできませんが、被爆者の思いは共有することができるのです。そして、第三の戦争被爆地を生み出す危機が高まっている今こそ、被爆者が訴えてきた「長崎を最後の被爆地に」を合言葉に、力を合わせ、「核兵器を絶対に使わせない」という共感の連鎖を世界中に広がっていきましょう。(感謝略)

もにその威嚇も禁じています。ロシアの暴挙への態度では「温度差」のある国々が「明示的であろうと暗示的であろうと、またいかなる状況下であろうと、あらゆる核の威嚇を明確に非難する」(宣言)との点で一致しました。

一方、「一部の非核兵器国が核抑止力を擁護し、核兵器の継続的な保有を奨励し続けていることに懸念を抱いている」とした宣言の指摘は、アメリカの「核の傘」に依存し続ける日本政府などへの厳しい批判です。

これに対し、ドイツなど北大西洋条約機構(NATO)参加国はこの会議にオブザーバーとして出席しました。立場は違っても、対

時代遅れのG7サミット

話を重視する姿勢が共感を呼びました。オブザーバーのスイスは「被害者支援は、条約の加盟、非加盟を問わず取り組むべきだ」と発言しました。

その後ドイツ南部エルマウで28日に閉幕した主要7カ国首脳会議(G7サミット)は、市街地から隔絶された山の高級ホテルで開かれました。多額の資金を投入し、一握りの豊かな国の首脳だけで世界の課題を議論するG7首脳会議をめぐっては、現地で「時代遅れ」という批判が出ています。

現地紙は、各国国民がロシアによるウクライナ侵略、インフレ、燃料代の高騰などに苦しむ中、G7首脳が嚴重に警備された豪華ホテルで会議を行っているとして、「サミットはもはや時代にそぐわない」と強調しました。またNGOの幹部は「世界の豊かな国の中のさらに一番豊かな国々が自分たちだけで会議を開き、世界経済の方向性を決めるやり方は、今とは異なる世紀の話だ」と批判しました。

軍事力による領土変更は絶対に許されない。ロシアは直ちにウクライナから撤兵せよ!